

この子らと

令和1年7月

まことの保育



鹿児島竜谷学園和光幼稚園



園長 川口公男

心のふるさとづくりを

かつて、甕島に赴任したことがあります。甕島には、高校がありません。親が子どもと一緒に暮らせるのは、わずか15年です。15歳になると生まれ育った島を離れなくてはなりません。

「15の島立ち」と甕島の人々は言うておられました。それだけに子どもたちと過ごす時間をとても大切にされておられたように思います。

「15の島立ち」、親が子どもとやがて別れなければならない寂しさ、そのことに耐え、気丈に明るくふるまっておられる親の心中を想いますととてもせつない気持ちになったものでした。



「15の島立ち」と同じように遅かれやがては、本園の子どもたちも、家庭を飛び出し、一人で生きていくこととなります。そして、必ず、いろいろな試練に遭遇すると思います。

そんな時に「心にふるさと」をもっている人は、たとえ、いろいろな試練にあっても、強く生きてその試練を乗り越えることができると言われます。

子どもたちが遠くの地で、ふと、疲れたときに、ふるさとに思いをよせ、「ふー」と一息。

夏休みなどを利用して子どもたちがいろいろな体験をして、「心のふるさと」をつくってくれるといいですね。

思いよ、届け!!!

子どもたちは、短冊に思いをこめて、七夕飾りをつくりました。職員は子どもたちの幸せを願いました。



遮光ネット完成



太陽光線を遮り、園庭全面に木陰をつくってくれる、遮光ネットが完成しました。

子どもたちは「青空みただね」「きれいだね」と喜んでくれています。

7枚の遮光ネットで園庭全面を覆ってくれています。

ただし、手動式ですので、遮光ネットの出し入れに職員は、腕の筋力をつけています。

思い出のお泊り保育

年長組のお泊り保育が、7月12日(金)・13日(土)にかけて実施されました。

本園の4つのお約束①「合掌・礼拝を心をこめてしよう」②「こんにちは、ありがとうなどあいさつをきちんとしよう」③「おはなしをよくきいてこうしよう」④「みんなとなかよく協力しあって楽しくすごそう」を開会式でいたしました。

閉会式で4つのお約束を守れたかどうか、園長判断をしました。全部、花丸をあげました。

園外での態度、園内での態度、年長らしく成長してくれたと思います。



保護者のみなさまへ

父母の会、おやじの会のみなさま方の子どもたちに対する深い愛情を感じての一学期でした。大変、お世話になりました。和光幼稚園職員

--	--